

『玉来川総合流域防災事業』が全建賞を受賞！

Taketa civil engineering office

平成24年の九州北部豪雨で被災した文化会館の復興をきっかけに、大分県、竹田市、そして地域住民が力を合わせて、玉来川（たまりいがわ）周辺の水辺空間を活かした魅力ある地域の交流空間「たまりバたけた」の整備を進めてきました。

さらに、地域の活動をより盛り上げやすくするためのエリア指定（都市・地域再生等利用区域）を行ったことで、地域に持続的にぎわいと元気あふれる拠点が誕生しました。

大分県と竹田市が連携したかわまちづくりの取り組みが評価され、一般社団法人 全日本建設技術協会より『全建賞』が授与され、令和8年6月26日に表彰式が行われました。

【 表彰式 】



【 たまりバたけた 】



※全建賞とは、「一般社団法人全日本建設技術協会」が行う表彰で、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられたもので、日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備や、その時々国民のニーズに沿った取組に対して授与される賞です。

大分県 竹田土木事務所

担当：建設・保全課 企画・道路班
連絡先：0974-63-2104（内線131）

概要

大分県竹田市において、総合文化ホール「グランツたけた」周辺のエリアの魅力をさらに高めるため、隣接する道路や公園に加えて、玉来川（たまらいがわ）河川敷を一体的に整備しました。

大分県・竹田市・地域住民が協働して「かわまちづくり」に取り組んだことで、豊かな自然景観を活かした「地域の賑わいと交流の場」として再生することができました。

事業の内容

県は護岸、遊歩道、階段等の基盤整備を、市はパーゴラ、ベンチ等の施設整備を、それぞれ分担して実施しました。



施設整備の状況



子ども神楽公演



竹灯籠

事業の成果

本事業により、民間事業者の参画による維持管理等行政コストの低減が可能になったとともに、民間ノウハウを生かした河川空間を最大限に活用する賑わいの創出と地域振興につながる持続的な仕掛けを構築することができました。

利活用面では、日常の公園利用にとどまらず、マルシェや屋外ライブ、ヨガ教室等、多様なイベントが開催され、多くの来訪者を集めています。

さらに、河川に隣接する公園「竹の子ひろば」と一体となり、家族連れをはじめ幅広い世代が訪れ、地域に活気をもたらす地域の交流拠点となっています。

